

アンケート調査の回答(地域日本語教室)

アンケート回答		
参加したい研修	課題	AIAへの要望
地域日本語教室はなんのために必要なのかを学ぶ研修会、地域住民として暮らす外国人への日本語指導の方法を学ぶ講座、「やさしい日本語」を学べる講座。	秋田県内でも日本語支援を受けられない地域があり、外国人散在地域に県の日本語教室が必要。生きるための日本語教室には行政との連携や日本語指導者同士での情報交換も必要。	-
少人数教育(2-5人位)の仕方について(初級、中級、上級)	-	-
教本「みんなの日本語」を使っての教え方の研修を受けてみたい。特に初級の課をしっかりと学びたいと思う。	日本語を指導する私たちは、外国人の方がよりよい生活ができる様にサポートできるひとりであること、指導する側同志のコミュニケーションを取りながら運ぶことも課題のひとつと思う。	-
教科書や参考書を使うにあたっての展開例や留意点を教える研修。	・就職までの短期間に受講する人には「みんなの日本語」より実用的なテキストが欲しい。 ・長期にわたり受講する人には「日本の伝統」「最新の話題」に対応できるテキストが欲しい。	・あいさつ程度の中国語・韓国語を教えてもらいたい。 ・中国人や韓国人の一般的な国民性についての講話。
来日早々に、車の免許を取得したい(必要にせまられて...)という生徒さんが時々見受けられる。私達、講師もそれに対応すべく、講習を受けたい。	市民課などでも対応して下さっているとは思いますが、それでも尚、こうした教室の存在を知らない外国人がいるように思います。さらなるアピールが必要である。	-
今までに無かったもの	-	-
日本語教室における外国人支援の在り方	施設の都合で各教室バラバラの場所にて教えているため、先生方の連携が課題になる。外国人支援についてそれぞれに考え方の違いがあり、相談に積極的でない方もいる。	-
ベテラン先生の授業を参観したい。	継続的に受講できない学習者が多いため、単元で独立して学習できる教材がほしい。	在住外国人には農家の配偶者が多く、あまり遠出する機会がないため、そういう機会がほしい。外国人配偶者の出身国から家族を招いて交流を行う。
基本文法 みんなの日本語2の文法解説 中級の教え方(地域の教室で教える場合、地域で実際に教えている先生の話が聞きたい)	-	-
地域の日本語教室で役に立つもの	予算の関係で年間24回程度の開講になる。漢字なども充分に教えるためにはもう少し回数ほしい。	今後とも外国籍の方々のご支援をお願いいたします。
具体的な実践につながる研修、若手向け研修。	新規受講者の減少。	日本語学習以外に行なっていることなど、他の日本語教室の活動内容を知りたい。
具体的な実践の研修。	仕事や家事があって教室に出てこられない外国人が多く、受講者が少ない。	-
指導方法も含め、教室で起こりがちな問題点等の具体的な解決方法を知りたい。	日本語指導ボランティアが集まらない。	地域住民の中に外国人がいるという現実の、県民全体への周知。

アンケート回答		
参加したい研修	課題	AIAへの要望
講師の指導方法について	資金難、指導者の高齢化、講師の手配	年に数回でも良いので日本語指導ができる専門家を派遣してほしい
例えば執筆者や出版社の関係者を招いての、新しい教材の紹介。	日本語教室の情報が地域の在住外国人に行き届かず、在住外国人に関わる情報も日本語教室に入らない。関係行政との連携が必須。	協会内に在住外国人支援を専門とするコーディネーターの配置。
記載なし	個人情報の管理に注意している。 ある程度の日本語が話せるようになると教室に来てもらえなくなる人のために年に2度、探訪研修などを行っている。	-
日本語の文法等をどのように指導につなげたら良いのか、勉強できる研修があれば参加したいと思う。	市民の人や地域の方に、「日本語教室」をもっと知っていただくために、交流する機会や関わる場を増やさなければならない。	-
同じ地域で生活を共にするという視点から支援に携わっている人の実践的な体験談。	・支援者の人数が少ない ・市の規模に対して日本語教室が少ない ・いざ困るまで読み書きを身に付けようという人もいない ・支援ボランティアの人数が少なく十分な対応ができない ・支援ボランティアの誘致	-
・音声、発音指導法 ・多様な教授法の具体的な方法と、長所、短所について。	-	-
シリーズで指導者のレベルアップに結びつく研修。	-	-
授業がマンネリ化しやすいので、効果的な教え方(教授法)など、講演会形式の研修があればいい。	学習者が途中で来なくなる事情が多くある。それは、働き始めて疲れきってしまう等の事情である。こういう学習者の学習動機を継続させるための、何か良い方法はないものだろうか。	・指導者が参加したくなる研修会を企画してほしい。 ・「日本語教室があることを知らなかった」という外国人の声を未だに聞くことがある。外国人にも分かるようなPRを行なってほしい。
宗教によってタブーとされている事柄について知りたい	-	-
4技能を合わせた統合的な活動の研修、他の教室でどんな活動をしているか。	-	・駐車料金の補助 ・AIA内研修室の増加 ・日本語教材の充実
・初・中・上級と分けた研修 ・授業に役立つ研修 ・若い指導者の育成に役立つ研修	・便利な会場と会場費の支払い ・指導者の確保	・アンケート終了後に内容を知らせてほしい ・研修会には行政機関の出席も願いたい
他市町村の受講者との交流	-	-